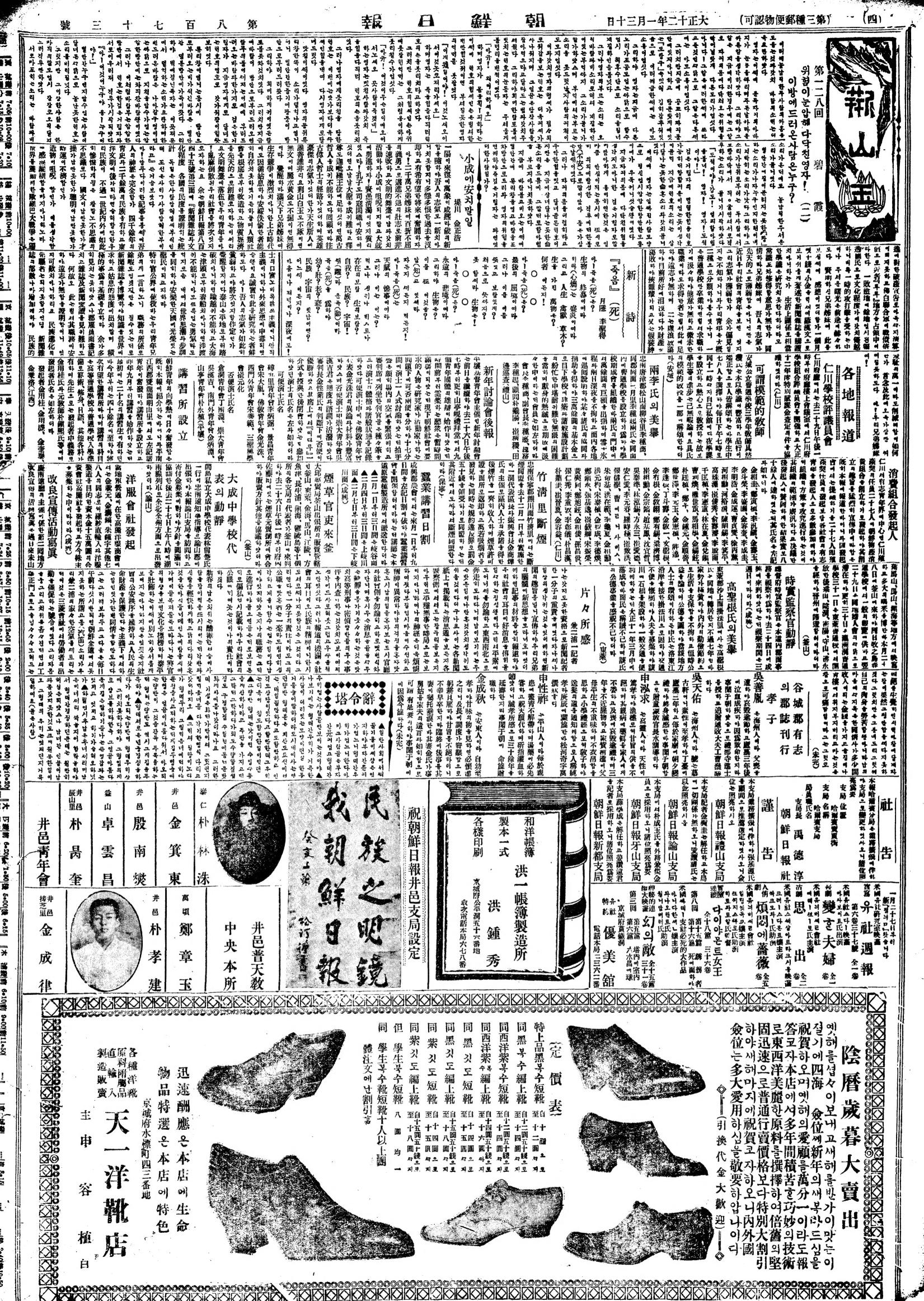


	號	<u>.</u>	Ξ	-	+	4	<u>"</u>		<u> </u>		1	贫	育							李	R		E	1		盆	举	<u>.</u>	草	A				日.	十三	月一	年_	:+i	大	(可認			重三第			<u></u>
	支出 交 並将來す之移比問題の関す作兩回	7田子七移民問題の関すの米國外の省の發表せいの依めの日本外間	(華盛頃二十七日發電)米城々	中面員說中取消計次人上「早可沒 日本外相言 智	米國務省發表	めかり 星狭 ががられ 一角 一角 できばれ 一角 一角 できばれ 一十二 単位 きょう	石東洋及濠州の野む『町り』氏の河	「深知むりを厳む今英胡毎取省の(倫敦二十八川 發電) 斗引力紙	人四名と最近の白耳義中尉『中引世界的航空家の開記	英海軍省補助	逸人處刑 一叶出帆的意的口平明点、工界、时	様二豆其渦中の入豆以の山	倫敦二十八日發電)『早1日』占領や別旦形勢を變化州中日中五		ユ 旅客輸送 そそ	(伯林二十八日發心) 期間一年可一地方引 鐵道罷業之見因亦作佛軍一方司一位 兵 列 車 道 轉 失 見	相『王さか刊一』比と此の答覧事を拒絶かめいのみ	其他胤爨並行動の有許の合の對하い獨逸を更も抗議がの本中佛観音 義務 (伯林二十八日孫竜) 佛國軍の獨逸官吏及 其他を逮捕又を放逐及決定	例 獨 扮 議 指 經	4月、1月、1月、1月、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、1日、	(竹林二十八日發電)『早ーの』地方の形勢の鑑めの國家社會黨の「外決」	台勺革運動	既之有	伯林電子撮引即獨逸帝政運動の『子門町」、『甘思	人热爾曼	『前月星決하ます日本『問題』不過むり 賠償委員會を豫想斗如司二十六日獨治	が依むいる	応賞 曾蜀要 校 石 通	歌 米 情 報		こ光용をむら東間月で11代をよんじゅよ 交易集牛の野が作密議中、確實が可 時機号待が呼民黨者排斥立れが五叉廣東の地盤を築立れが「下値」を持ちている。	(黄果龍) 陳朔明元4月下唐州平在計日近日中の香港の向登以七年陳 沈 安 協 條 件 密 議	難む者からのけ、文を今一二週間の豫定のみのい	そ次三 室前の五旦孫氏の殿東行を往復の室前の十餘名を招宴的の裁兵の敷吹きる	モルサー對 向且孫文氏モニ十五日新聞記者三四派の貨幣 おい此手監督す	及全員各閣體サイ各一名子推薦及全員各閣體サイ各一名子推薦	重対の当ずユ且國内の一二、裁兵借數の用途を法定監督地11の大缺陷を執政者が一二、裁兵借數の用途を法定監督地11の大缺陷を執政者が一貫を持ち	一、名派首第半額成も割する中国一、名派首第半額成も割する時間の一種の一種でも関する。	を除去る故皇今後門を極い、冬夜官員中養成を整む後中調販軍の既司殿東寺不平の 減む	▼主張がジェコー、「「「「「「「「「」」」」「「「」」「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」	Pの對すりで設法問題→ 以下方法 で入り十五日の宣言→改善方法・マニテルの可議定のタエコ	先裁兵者實行者司任部州即裁員者希望不已部司平和司必要之	侵犯刘小川却正干涉刘小川却以此四派七須司各々自守部小互相	ant and	∀ 牧師引賞お≗此川派+幹覧が好 上へ ○己 宿買 11	一直言	了 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C
経馬の	小佛)教	書品	報も経費十萬四		風大型影響者及甘·旦認可呼此 出 川川の信仰遊览者以古·國家。 國家。 斯外	法十間可外交使節者交換智之國民 可對	以聯合會七日本帝國政府斗羅馬 伯利沙 一部	三次議 ・ タロ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	●五全機信徒の関論さ代表が・ 國の二族以十三期の支部選事無貨も ・・英	S AR	(東京電) 佛教聯合會七二十九 原答	君子子	佛教聯會一副	意	三世の野市中間題小起市中質問すること	豐	院友	日義務教育費國庫養擔名副母族上世四十二次決定可以合列等可以担任委託後七一南氏	変	可量	大学では終起の外一任が内閣や中 ラウンス・コング 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	いいに 一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一		12 114	, ,	で南津義を文の京祭・義国といい、「村」製む農村振興及行政税制整理の網 質可知		· BP	顧問、宋次、小川、川原、武藤、中西、 金七年 最高幹部會を開す五野田、岡崎兩 早引き	八日午前十時早日議長官舎まれ 意味な(東京電) 日本政友会のオモニ	政友屬幹部會	日本教養	羅巴人士一人と無む狼様のみ 近れ	和・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はないない のうしょ のは のう はいかい はい ない のう いっぱん いい のい のい のい のい のい のい のい いい いい いい いい いい	は一十七日酸で)北部場様、姉崎は一十七日酸で)北部場様、姉崎は上月日	旧勿 南川 東 頂 東		上下 原子林	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(三州に守二十七日政治) 勃牙利下院士	切、統一可以是を	八千九百二用》发出叶色眉目于加入叶琦甲斩散、修締数《二百萬弗》 巴拿馬马。不能:阿田山河多。 十十分第二十	「事業中国行主可靠はじませてといたもっち「事整領党」、陸軍卿『升五金』氏小上院行「一工」ノビサリビューリー・フィー・コート	▼國陸軍卿、布哇工 章	行別せ發展の無かい米側の 勞度政府承徴得に関かいそ関係省도公式の 道牒の	米勞農所承到
年度日英貨公債債還を對せ第百二年度日英貨公債債還を對せ第百二	《入き適當なりや理由、大正 ユ星吹川・日) 更も以手二百萬圓 第七十		5月計斗・質問い、前引・質に対し、 「「「「「」」 「「」「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「」 「」	又減值	大吉郎 (革新) 繼續事 開墾學	資間は4 第一位 第一	近斗我國寶業家平活動狀態 薬の二		海軍豫第一英米佛伊马新艦 期年賦(米马廢船作業 4 現狀英米兩 十二月)	400.1	6) 0):	移る委引を望むけ立答む 雑 置	○星又自然的 同計の至當하다 公	さいの十大體政府を戦前の一登 一選杯 物質の程度を議論 郵便の	小政		對すり常局の意見を関立な 送金で	左二天一町上 の一川 如左がる一大町町町町中山がり	すり書館もいる注意州から そ反前し七名の存む放豆南君王此書 干三百 元	たスキのリト質問通告者小前々週a		周围三斗时霞围。顾司終了 京城交晚氏 小作問題斗農民의	サンド 出る機会の代表を一手で	思かせか	氏大會の出席者を三千五百群山の北川の東京の開企業計画の		滅相 郵便貯金ャルな堅り呈計明		近り留置メットサイ 人間半班	上9 星利子曼八朱叉七九朱 하ユー飓二氏 一郵便貯金獎勵引意 하そ - 南	1117 光州方面	環院線外網音を二十七日午 21 7 中 1 帯の百	三百万人議 ヨュ解※	全人として	の引五目下起草中の引引引 ●●●●	、立、吉野、宋废、 点柳等六 引像明为光地呈此中對抗하斗 立小野 熱烈引希	四年 一日 一日 一日 日本	・ダイマ 聯合國の提出條件 繁留此当度議算を	大口 上上 一群山地方	77 38	数方で 對する多層で は フナシホ	た日本 産せずの	リード・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・	15元十事。七年前十紀 京徳道男祭子の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神	事實要求 道率	(語を後がまり最近本件の関 等者行	石油會社与際哈迪浦出採「知之下」も外追
一件條但書き削む。	************************************	「一般のでは、これので	即中一月三十日附府令の皇學校中		業、水利事業、音産業の順位、農業生	号占司立其次や土地改良及 省む Bで 百五十五萬七百七十八圓の 偏他名	百十六日と日金額や籔業は大きの	英口教士上四女是文羽悬序府 F 交流百四十一萬四千三百三十九 急引整	貸付額を合計四百三十三日 州市での 末日現在東拓京城支店早定 ・「東京	拓貨付額 以來人	1 801 VIII	世界 門 空八四八 不堪食可	大多 100 100 かみをか	是一种的 100、00· 理由是小	川金 七笠 空八尾 ・京城町	手形 一、三岁 一 2000元 不在企可形 一	の手 1平至12 Mで250、0大 車場・前	い引 一年 日本	七十四萬一千餘圓の減少寺 一大下の第一千餘圓の減少寺	『交換額の對比かり枚数一 」	11年9月七十七郎とことと。 11年9月七十七郎とことと	此前週末形交換的表記 A 画	形交換週報 九月		比が作多少派色の有がいり、人割の無が立目下の現状がで	임	7地方の工藝學校寺殿立寺 成舎寺殿	《하吟地方人士や人々喜悅 線敷設促卵範學校の設立を教育界の 過船嫌法	一般で大概で探対のいかり 一般なる	壁三百圓の收入の引きな光 空屠殺が用の鮮鰈鑢を頼り好況す星 及後來の	汀里三十日丹	其企	皇或を御り	中での一般で悩况や銅鐸――――――――――――――――――――――――――――――――――――		1941年的八十岁石以上, 各六年文学中,大学和《一年》	マルト同時の群山の生命 電話交換	編入が引立其諸願姿質者 依が引加・数用約一百萬圓) も明年 依が引加・申込せ家	横河設備手順級船舶七隻 十六號地 関地方でも目下桑港計 戸が日大	女.問	南線方面	中 或子事業中中止者者呈思 江界、	可小本府司強第聚縮方針貞司以子 中北号編成书皿其決定者		普校增設案 ****	後四時四十分 8 散	かる都で對から簡単も思 電話の かる から の でき の でき でき でき かんき でき でき かんき かんき かんき かんき かんき かんき かんき かんき かんき かん
年に出場けせなかり物法で A 取済人や感偏不已せなから A 取	三校舎号擴張も預定のみず 短	はおります。 単語 はいました (1) では、 1) で	かる學校号設立すら解郷で安 取	日鉄千町の中蜀旗の三種成むユー	お隣里兒童の道学の困難な 長の足風潮の感觸を深切え	▲黄海道安岳郡柳州徠君や駅やガスで「鰻道党局や猛	版容の不平り一二小むり世 株式な	連上中心驛のひの女きユ父 繁報を召のの京城驛を半島首	있지할 교 이 것 은 무 것 보다 도 -	お代巡りとそるませれて返り 中去客の時刻さひ手の鑑々夜 動信株と	断り通行難をひる道路せり 止むりばのり 迅速が緩正せらりゅ 所付から	いると父子監接の衛正を 設計付付	で驛夫の不親切のり牌高の せ前止れ恐小夫の気みなから テスタミス 人家ご無	小▲道路の通行雑や工事小一新の九十七個向のダム日のダッ子一部はその	神の日後のない手術々の上	「解天中不親切の「辨當」 立観測は「解天中不親切の「辨當」 立観測は	せびのひ▲ユゼリ道路斗通 三種立命のよい發展되のルモスの足 少ぎょん	(智以もなる小大観上ユ停)間や安郷では、19世間で安郷の一番の一番では、19世間には、19世間には、19世には、19世には、19世には、19世には、19世には	一川安山 成大十二八十十二十二八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	○との日本南大門驛町位今此ヶ恒八萬石町	1時三十分京城驛發赴任 四萬八千三時三十分京城驛發赴任 四萬八千三年	(型かずの L.尊上が上三十 點・己放) 歌氏(總督府前水産課長) 四叉 そ同	前十時級列車星鳥致院で 収を對す	一氏(京畿道知事)や二十 他株や別一十銭殖新	事情息機可止的	- 別成促進演説哲・開催む ユ安取モー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	女大邱、昌原、昌家等各地 十一圓大い かみ 十名의委員を選定さ ユ仁取係	(坦演說會可以滿場一致切) 肉溶鎬中(口本人有力者) 天田劍州 开口白井	は、人方がきょうのでは、 される世界線期成會演説 される中間	人工屠殺者願止さ五雅祭・來臨む	一名	二百菱映画 十七計	映場の屋駅坊ませ渡り塔 坂大斯の- 屋駅場改善 休日前も	江界新江界面東部洞	局東都一	中中	官者一月三十日附官報之 尚前 二梁渺開始41日~追谈此者 尚前	大申込書者を出せる可せ 細紡 11k現中の希望者を該規則で は紡 11k	配外上分割が上端話加入大学 一正八年帳創総書房令第百名所	11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年	記古申請与六一大一	大学 一	5年1 頁上III - 一の月没 一十地名 医別名部中義州名 1月没 1月没 1月没 1月没 1月没 1月次 1	一百年一郎万年 三元郎、三十年 二紀一條甲加入區域及群六 一月第二:12年三代三十月 12年	はいた。 はいません。 はいましむ。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。 はいましる。	防加入區域、指定地及土 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加入區域改正
11010 110110	期取引後與	九一七〇九一七〇 長事記	11010 11000 排版	我取引的是	10人の方	市当年刊一八八五 西親 以	金應龍城	城株式現物取引市場 原収 日	从城府長橋町大十番地	N 大曜日後海旦日上海日 人村	『面や閑散無氣も狀態のユートよりの別で	スユ大新キ九十一圓八十錢 光限 そうの 歩調二十銭 ユミニ十銭	サラガニージュニー はのいけい 一手の一十銭高を五十週四十 銭の又無架を狀態立立合可り京取	で一旦六十銭の三人電コリ 戻るので	は 「	の可引をは、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	かり、八十余萬風の「巨額の「総で始」の八十余萬風の「巨額の「起で始」	別!十月上日が一匹で十二番中に低き相場の・三登買高小減 銭の五路の民十月上で三月人のごり 銭の五路	の中では、現代のでは、日本の	四例で依ちの當然も理事が 同様のa	一石の寶賀耳曳五今期之約 世界の中間の一番第三次	近任不顧が七貌様の中業績 ▲第二級門期業績の前期上中減少到 ぎょこ	《式金融の逼迫む大原因の 限や二十年の上の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の一条の	が無變動の足止む 単就中仁 九錢ではの四十九臘八十錢の豆其 イニー	→ 週間のそ京取五十圓三 スキョー 別五六十錢・豆結局七十一三級	大新キ八十一圓七十錢済 寺立十五二十圓十銭済付三二十圓	一 銭寄付豆 跡不成がな	村市川マロ少数取引可以	お附すの少は質方南源	日止價量中僅有二十錢高	可取引商兄 # 視察引為計 政務總監斗田中商工課長	・最人氣を稍有强硬의狀況	ルナー間八十菱高規呈派一銭で情多少弧氣呈止ゼル今朝大一段で情を必	場小 高	以前第二六五01元五01	三五、九〇 三五、八〇 1一		七七、在〇一一七七、在〇一寸(文件九五、一〇)二九五、五〇三的金布進九二、八〇三十二、六〇同世業島	一三、〇〇 一二、九〇 細布飛犬一三、九〇 一二、九〇 細布飛犬	一十九日前導	反 朱式	五一、九〇 五一、一〇 仁川米 四九、六〇 四九、四〇 一二十		1911700 全95500 河 全号的分子 化二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	二十九日前場「和雲人	仮 三 品 · 総綿	记录
所 四回の	E 11110 01111 E	期间	第二	三00 阿斯	九九 東近衛	1 4 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			前場 後場 前場 後男 同新記	今城中 张墨中 张	が市会連合は正見の服が後七	一十八億十二万億十八億十二万億円の一十八億十二万億円の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	限や二十一圓五十銭一口呈後小高号接が五當限や不成	第一次等九國十段止頃十一 一十一 中僧の	十三段の始むい六銭は四区 甲倫里段一口三中限や不成の可化 三 端	七銭の反高を受引ュ當根を 同節 阪地七節二十八周の豆 同	サユ止하け 11 脳がり場面り亦不振かり單一 同	内限や不成りけ先限や十九 法 郷皮同様の膠着不勁引き接引 同 嫉	の 阪地大節や内の九十九 同・始から十九銭の止かり	15年最も下炎りすらした。 いきおうかい 15年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18	明 仮地後九十九後で四度 「大川寺子」	「機可合外ドトで吸引を支」という語を利信をい	「近り川寸サート」の「日本の一日本の一日本の「日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一日本の一	「関する」のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	別心上に発っますを心に 大学の第9人が中大阪初 大学の第5年はまります。	「保勢中更未足り事者上す」 文章	湯で	本印織的本印織的	光明	が、一番の	出版の大学には、日間の	其後九十五錢甲阪龍专接 二節	報斗共司二十三個〇九銭 一節・な阪地初付二十七圓九十 公	(保勢小戾) 安伽	TIP UITS		12四八、〇〇 山低	11、四〇 村九	「三、四〇大海	据· 是急七番、丘丘丘番 四節	中では、一つの	豆取引所仲買人	11111000 を を を 111111000 11111111111111	三次大 (200 (200 (200 (200 (200 (200 (200 (20	二十九日前場 二二十九日前場	糸布時勢 高祖	九一八〇 九一三〇 丁甲甲甲九一八〇 九一三〇 一一一 初付
5 射燃	引 10至 阿斯洛	5 1至0 ······ 東亞 尚 000	にた	表心	第六組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	中數司	700 :: 須鐵	1 元(C :::::)		前場後野前場後男符名	个四中 水墨中二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	二川宮丁農業代投	り、寛、睪・E、欠、バリオ宝地号所列買人	普通 一大〇〇 同	上 一大五〇 同	上中牌 大〇〇布(日豆	正字甲少 たつ 同 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	松上品三七、00周年 地方、五0周	上品 四,00 同 品	北話 英四〇四番 · 二二〇 同	% 新田養民 同院海岸町三丁目	当	本級正牌 一五五〇 同		の文がおようです 「中ツを	一月二十八日 同家 一月二十八日 同家	段市大寺势 内变体	以祖高 八、つ九四、九〇〇十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	三萬四千七百石 -	超高 五千二百石 冬然	二十三四五十錢 同二十三圓三十一錢 同	二十三川二十八段即山白	二十三國二十九錢 日 祖	二十三圓二十三錢 鐵原釉	電影	桑野仲買店 同素豆碱引所作员人	二十二圓四十段 阿八老	二十三十九世 五丈三九日後傷(電話) 四八年	二十三届二十四緒 同數良	二十三興十九銭 同大	二十三獨二十段 同	四周	活動一八〇番四端形	仲買 店 同中銀	豆取引所仲買人 「甲砂麦」 「中砂麦」	二十三個二十八卷 主弦步	11十三個十五線 熱炬沙流
******				*****		***************************************		当	正是	後男 前男 後世 電車	が	話は三〇七四年に	大 大 大 五 公 本 五 公 番 番 番	河 一九〇	並 同五五〇 製十年間	枚 五〇〇	笔 同三式	中同二四〇	福 同二八〇	下司 八〇	男上同 大〇〇)女上同 1100	外〇	並 同 九五〇 此現在活中 同 一四五〇 過去むが	000	上 同 (1111) ロヨ及叫 中 同 (1111) ロヨ人と	三五〇	Ö	一月二十八日 (福金) 全位		V. C		、七			八八	£ 00	T	九九八	11.0			「毛純仁正牌 五、〇〇」や才思斗を弁権が、「一二三〇」され光視は、		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	拼释方 二、1 C	10、00元
エモを計画	楊貴加	作用 三學年用 定價十五祭 公介	通 算術解式 III	考書呈提供計至不厭計十の引 尹 白	「學校生徒諸君母自習上必要」 かいのはずい 詳密の解釋が少人 サー	※網維が中軍語斗難句を假名 ※ なりでき過學校教科用斗師語讀本 誤刺 エ	定置三十五錢 郵稅五錢 一件 日	間、日本学生	石ード有志人の哲明話便が	公記號詳解等	文法各種の川書翰文、日記法、 超一地對話體を詳録すめ立下編を	や言詞組織法 窓間の諸般奥旨を	中野東語學園	から初學者別語三單字外が	三編 計・立に	四雄子李君可歐米列國可屬語可以打到大寶價一圓廿五錢書留那稅十三錢 當二十一	二百三十除百		1十人き網維む英雄列傳の中収東 151	ス かり 略 七を	り、近かり、立	九台	中と図住所し勿志一最終にはいては、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	業記を観すり上 テの	石渚君の中波 全上で設別し、人口で	九沙 中間能の	英體・傳紀・生行狀斗出	· 靖胤元勳。 — 刷	正價七十錢、書留郵税九錢、十二十映一一一大一一人。	代 折 人 勿 中午 全映	怒河雄縁を壓倒みなる妙に、 はの出現がで現れ香語を選挙を作権といる。	一州「年父」上昌小」、馬女上丁昌「三山」」 学萬年深閨の敷伏すびモ女子界小 ――新全 定價七拾錢 書留郵税九銭 ――新		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	方面の熱々も辯士をの書を「京城で日の十年間・精後が少	新文台トを然りてとり。 登丁司急激を潮流を仲中朝鮮 京城三世界の経轍の改革者の 一冊第	で平和的・呈束縛主義と 一冊記 の 年後 一冊記 の 一年 の 一	《 连花六合类式 · 枚子小数型 · 第三、第四、第五、 約可戒子	事 講 寅 錄 后 表		議會의設立節次斗差運規 説의 質例を網維む考上附	武の理論及方法の上中編世の稀行も傑作の中	立妙を理想を設在する人 当日言	○ 文化重新可能力量上述 (中華日本) 文化重新可能力量 化重新加速 (中華成績長中夜電報主幹으로) 平同業務 (新聞郵配九銭) 各處樂局等	全通用規則 定位大	生、災、後、援、著・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廣文社新刊紹介
電話本辰 三六二〇	涿	京城府仁寺洞	燈臺直		3	循環	心梭一轉業	F	夢外外	長恨夢夢	· *	奇。	9知 己类		一派大大演			事へにいます。		是 后	(最終	十二、第十四、第十五篇六条十五編三十一卷中	政終篇大十一七	△ 引 八 二	即作	紫의騎手	化ルムマ、ハーユな機出演	天使의愛験	いコピリスを	けまりトラー	連動의解剖館	1 新寫 眞 提供	十 六日	致行質所 滙 束 書 舘	《南大門通十七番地	等。 一种 一种 一	質の子孫す教訓する	板製料とりで置いた。おり、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	大子(家)台京去牛家選要		N マ 		B B B C C E E E E E E E E	京城府授恩属百十九番地州の同業齢位七本舗注文する名職薬局商居する販賞袋々愛用す	一包二十錢小一包十錢	和一位的	10年 10日

」(三) 號三十七百八	第 日十三月一 (大	年二十正大	일 선	조 (卯癸)	日四十月二十(大)戍壬	曆陰 (可認物便郵種三第)
지의 모기지여 사기저 가히 과	다음 하는 사이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이	村里 地方 はいい 大大 大大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	장 갓 이독십는것보니 류 명 추에 나 다지립분지는교 오 위 은 혹 평 더 4단 간 라티 변 는 강 그 () 안	만나서로 이번에다시 모침 이번에다시 의 시시	##)김일(金一) 박현 (朴淵) 김일 선 (金一成) 의계명은 군자금을 모친하기위하야 나수원총을 가지교 전 학생 실기 위하야 나수원총을 가지교 원 당시 실기 위하야 사례(池)에서 목소총으시 여자무를 가지 교환 단에 왓다더라 작전하라는 에비회의 추천하라는 에비회의 추천하라는 에비회의 수천하라는 에비회의 사례(上海)에 온 로 하기 위하다 기계	本학문전한(寬何縣)이 있는 다한 등이 부 나이에 군자급 본 전한 전 교육 보내에 군자급 본 전 배디에 들면 한 편 그지 그 나이에 한 다이 있는 다시 그 나이에 한 다시 하는 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이
학생 하나 그는 의 등의 학생 이 그는 사이 보다 그 의 등을 살 지 그는 이 의 의 등을 살 지 다 되는 이 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	O 仁日女儿女子 > 게 선 년 키 위하야 로 전 시 가로 순 회 다를 동교실하셔서로 축보하다 이는사람도 등교실하셔서로 추보하다 그러나 사람은 이일이라 사람은 발달이되야가 는것이라는 도 조선만족은다시금 도름을 다고 세계되세이눈을 돌녀 금을	전 의 시 () 의 전 의 기 시 시 의 교 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	이유학하는 기가를 방앗진 일이 시 이유학하는 기가를 방앗진 일하게되었다. 나 이 시 한 이 보이 보고 있다 다 라 이 살 이 보고 있다 다 라 이 십 월 7 기 기 가 부서 지 교 여 성 7 기 기 차 가 부서 지 교 여 성 7 기 기 차 가 부서 지 교 여 성 7 기 기 차 가 부서 지 교	보 등 하 국가의자 점을 보 변하고 전 라 보 있이 라 등 하 자 치 (自治) 하 는 자 본 오 축 네 라 야 자 립 (自立) 한 다 의 하 상 더 라 나 의 하 는 순 사 와 (생해)	교 그에당한 감생당을 아위되었는 그에당한 감사하는 그 이 문항 바이오로 하지 않는 이 이 모등 하지 않는 (越南) 라당 다 아씨아주의 뗏라 당하지 않는 모다성과 가장 이에서 보이지 나는 이 가장 하는 기자 사는 이 가장 하는 이 가장 하는 기자 사는 이 가장 하는 기자 사는 이 가장 하는 기자 사는 이 기자	世界の (上海) の 内 に 20 日本 (1) 本 1 日本
지 보고 보는 아이 보고 보는 아이 되어 내 한 명 보다 이 시 이 이 의 이 의 이 의 이 의 이 의 의 의 의 의 의 의 의	聚선시 등 중 의 한 등 의 한 등 의 한 등 의 한 등 의 한 의 한 의 등 한 의 등 한 의 한 의	(本)		** 李遂樂氏 上檢學 ** 李遂樂氏 上檢學 ** 李溪樂氏 上檢學 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	飲みかりまなむより	학 을 가 한 분 기 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 한 분 의 의 의 의
무열를 점찍을 부 또는 신는 일임원인 하는 영업 부 등 이 어 선 가 나 한 수 있는 이 라이 어 선 가 한 한 수 나 다 하 다 하 나 아이 어 시 사일 보 수 나 다 다 다 다 가 나 이 십시 사일 보 수 나 다 다 다 다 가 나 이 십시 사일 보 수 나 다 다 가 나 이 십시 사일 보 수 나 다 다 하 나 이 십시 사일 보 수 나 이 나 이 십시 사일 보 수 나 이 나 이 나 이 나 이 나 이 나 이 나 이 나 이 나 이 나	의 자난이 식물일에 방주고등보등학교 본 생기가 음병 환 환 왕 후 하 보 다 나 이 실사일 학생 이 한 성 전 보 하 가 음병 함께 보 수 고 등보 등학교 보 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 「선상의 이 있 것 는데 그 번 날 의 에 가 는이 일 수 이 가 는이 의 본 의 이 의 기 는데 가 는데 그 번 날 의 에 가 는데 그 된데 그 번 의 기 는데 그 된데 그	日本及日本(の方) 日本及日本(の方) 日本及日本(の方) 「仁変▲高珠演▲企相主▲李盛園▲阿相上 金容奎▲郷寅植▲松廷植▲奈箕平人 「仁変▲高珠演▲朴廷植▲泰箕平人 「白声連集」 「古声連集」 「古声連集」 「古声 連集」 「一度」 「古声 連集」 「一度」 「一度」 「一度」 「一度」 「一度」 「一度」 「一度」 「一度	議信省)不科로との見替せ色(簡易保験資件)の基金との見替せ色(簡易保験資件)の基金との見替せ色(簡易保験資件)の基金との見替せ色(簡明のよりのは、一下の中(日 足色生)	아급보를들욕병실당 주 지수 보고 한 명 명 사람을 넘기하 약 일 함이 차로 모라나가 셔그 군 수 을 해산하고 그수 덩 방 후 (朴縣) 리 복석 (李屬成) 우 방 금 구류수 이라더라 (청주) 지나간이 심물일일본 미도 屆道) 미지나간이 심물일일본 미도 屆道	도망한 간부기 한 씨 오를 제금으로 지수(徵收)하야오 우러인 데 키는 잇지하는지 라면 병 학교를 건축할게 되으로 그 면 합의한 실마로이 귀(二期)에 장수하 의 발 귀로 알 비 교육 한 경 과 보 를 의 권 (協議會실)을 회장하야 의 발 귀로 알 비 대 교육 인 경 다 가 그 연 장 등 현 방 하 다 가 면 함 한 결 하 는데 그 연 명 보 의 발 귀로 삼 박 여 명 에 군 등 에 의 발 귀로 삼 박 여 명 에 군 등 에 의 발 귀로 삼 박 여 명 에 군 등 에 가 고 연 장 을 현 방 하 다 가	도지갑취차합議연립합 國際 석 보 보 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기
학자 한 학교 한 국 그 선 의 학자 한 학교 한 국 그 선 의 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학 학	비비山休校 사사세우교무기들에 제일이선성에 가게심모(金裝)가라질써에보앗는데 라기본지 하였은 보지못한일입으 보지 등 영어 보지못한일입으 도보지 등 역사 한국도천선성은말 도보지 등 역사 한국도천선성은말	전하가 황금당, 黃金剛 스빌등을 하차가 황금당, 黃金剛 스빌등을 하차가 황금당, 黃金剛 스빌등을 지난다가든 경기도 한국 모든 지난다가든 경기도 한국 도 된 위군 「擬威郡」 이라 사업록 (徐 무시역박당에 있는 본단(本田) 무워 그 등을 되지 않는 본단(本田) 무워 그로 입원들하야 응답지로를 받았다는 이 이 나는 데 성명이 는 본단(本田) 가 역사는데 성명이 는 본단지로를 받았다면 기가 역 등에 무단되었다면 기가 역 등에 무단되었다면 기가 역 등에 무단되었다면 기가 무 등을 받았다면 기가 되었다면 기가 무 등을 받았다면 기가 무 등을 받았다면 기가 무 등을 받았다면 기가 무 등을 되었다면 기가 무 되었다면 기가 무 되었다면 기가 무 되었다면 기가 무 되었다면 기가 되었다면 기가 무 되었다면 기가 무 등을 되었다면 기가 무 되었다면 기가 무 되었다면 기가 되었다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기가 되었다면 기가 되었다면 기가 되었다면 기가 되었다면 기다면 기다면 기가 되었다면 기다면 기다면 기가 되었다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기다면 기	도하기위하나삼십(盛業)하는동포도하기위하나삼십(盛業)하는동포도하기위하나삼십(盛業)하는동포도하기위하나삼십(盛業)하는동포도하기를원하면 환명한다이라(상혜)사구를집합한다이라(상혜)사고교학마다던자의사교본 기사산이시절반다이라(상혜)	토덕쓰십위 (天政) 우란지비인 (天政) 우란비를 먼지아 활동사지와 연당비를 먼지아 활동사지와 연동용용광교각 선당 비라스와 살보 선당비를 보지 아이 활동사지와 당동 작산을 해외에 소리하고 목하고 각선물시의 교육하고 각조 정부 등이 사건 등에 있는 각 선물시의 교육하고 각조 정부 등이 사건 등에 있는 각조 정부 등이 사건 등이 사건 등에 있는 것이 되었다. 변경 등이 사건 등이 사건 등에 있는 것이 되었다. 변경 등이 사건 등에 있는 것이 되었다. 변경 등이 기관 이 기관	가역되다 그립으로인도사람이다 그 먼저 디 이 이 시한성하였다고하는 및 되 가을파하는 및 에 는 인도사람이다 되는 가을파하는 및 에 는 인도사람이다 그러나그의를보고지 사상해(上海)에 있는 실어 는 이 한 사무와 있지만나서 참으로 불 사무와 있지만나서 참으로 불 사무와 있지만나 이 이 나 지하 있는 이 지 그 이 나 그 의 시 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 이 나 지 하 있다. 지 그 후 그 이 나 그 의 사 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	학교 수 교 수 교 수 교 수 교 수 교 수 교 수 교 수 교 수 교 수
의 보고 한 시 비 는 마다 의 시 나는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 비 는 다 한 시 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나	하우 다는데 경성디방법원 다루으로부터는터 퇴(大原) 검사가 아후(野村) 서기관을다리교본당시 아 전기복 첫삼좌위문은이편부터 일이 있습을 발견하였다더라 보이시내의 현연두(天然痘)는 날이 무목 더욱 더욱 더욱 나이에 발한 일 하나 나이에 있는 일 하나 이에 있는 이에 일 하나 이에 있는 이에 일 하나 이에 되었다면 되었다면 되었다면 되었다면 되었다면 되었다면 되었다면 되었다면	무이 있다는 이 보이 보	후기계의내명(內線)의 남편이되는 무명살좌위문(福升佐衛門三八)이 사건 나는 말을 듯요. 이것을 기기시키 사업에 된지 기기에 사용함을 이기지 못하여 되는 이 사용을 한 모게 그는 것이라하며 되면 보고 가 본 일 날 이 있을 기기 못하여 보고 가 본 일 날 이 있을 이 나는 말면 가 흔들 한 때 가 모 하며 되면 이 는 말면 가 흔들 한 때 가 되면 이 나는	저작이십달일오후일곱시오십분경에시내자교각(長橋町)십오번디일본사람 티번희시 大番嶌市五〇) 부동일의천발되는 야혼시게(野村 전국사하고 시계(野村 전국사하고 시계(野村 전국사하고 시계(野村 전국사하고 시계(野村 전국사하고 시계(野村 전국사하고 시계(野村 전국) 나 성명이 팀수위독하다 전로 이나 성명이 팀수위독하다 전 즉시사성을 보급된다 하다 즉시사성을	파 등 한 등 한 등 한 등 한 등 한 등 한 등 한 등 한 등 한 등	그는원리 학교 의 교육 의 의 교육 보기 등 하는 지 그는 원리 의 교육 보기 등 자기 등 의 의 교육 보기 등 의 의 교육 보기 등 보기
(後海) 갖흔하는 일이라 그런으로만약 이 보기기 된 당 보기기 된 이 일성을 변화 자꾸 보기기 된 다른 이 일성을 변화 자꾸 조직되다 자꾸 하하나 지하다	라는 비참한사실도 어시면(新典)유작사용자라 보다도가 다여 사람이 의조를 따라서 설립하는 사람이 비참한일은 얼을 것이다 다여 사람으로는 참야할수일 다도가 자 다여 사람으로는 참야할수입니다 다여 사람으로는 참야할수입니다 다여 사람으로는 참야할수입니다 지옥숨을 이여가는 참기의 실활하는 사 는 손님을 저녁에 보면 꿈질 것이 는 손님을 다른 다른 생물 안 안 된 것이 는 손님들 저녁에 보면 맛요 다른 일본 것이 다른 안 가운데는 사람에 보면 맛요 다른 얼룩 모든 말을 다른 말을 다음 말을 다른 말을 다른 말을 다른 말을 다음 말을 다른 말을 다른 말을 다음 말을 다음 말을 다른 말을 다음 말을 다른 말을 다른 말을 다음 말을 다음 말을 다음 말을 다음 말을 다음 말을 다른 말을 다음 말을	(施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (施行場所日之出小學校内) (地 本町四丁目櫻非町二丁目 花園町一部 黄金町四丁目二 中 写の 20 中 20	是一班 永樂町二丁目 帝 明治町 大平朔二丁目 南大門通二丁目 施行場所府整衛生課分室) 施行場所明治町浪花座内) (11月四日 呈早 司六日々五) 一二丁目 東四軒町 光熈町一丁目 施行場所明治町浪花座内) (11月四日 呈早 司六日々五) (11月四日 呈早 司六日々五) (11月四日 呈早 司六日本町 一部 新町 一部 東四軒町 光熈町一丁目 一部 新町 一部 東四軒町 光熈町一丁目 一部 東沿町 一部 東四軒町 光熈町一丁目 一部 東沿町 日 一部 田 一部	大平道二丁目一郡 明台町 次屋町 長谷川町 北米倉町 大平道一丁目武橋町 茶屋町 長谷川町 北米倉町 大平道 大平道 大平道 一丁目武橋町 一部 大平道 一丁目 一部 村台町 一次屋町 長谷川町 北米倉町 大平道 一丁目 一郡 村台町 一次屋町 長谷川町 北米倉町 一次屋町 長谷川町 北米倉町 一次屋 一丁目 一郡 村台町 一丁目 一郡 大平道 一丁目 一郡 一丁目 一郎	자라 보신 함하게 한 것이 되다 [산의] 도 등에 년 의 김교를 받고 달 하는 등이 되다 그러나 현 이 가 모서 당 위의 여 방이 한 후 등 다 가 보시 이 나는 등 수 이 나는 이	서입니다. 이 전 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의
道黃州郡九聖尚芳雲里) 김용관(金龍官[11])이란자는 사이에서 함부 다 하는지 말이 다 자꾸지 나는지 나는지 아이 사람이 되는 이 또(無[清]) 항면에 당한 이 된 이 된 한 후 이 된 한 후 이 된 한 후 이 된 한 후 이 된 한 후 한 후 이 된 한 후 한 후 한 후 한 후 한 후 한 후 한 후 한 후 한 후 한	원인 등을을 지는 말이 난에 독일한 하다는 일이 나이 말을 하다는 일이 나이 말을 합니다. 한하기자 년 전 한하기자 교육 기기가 있다는 일이 되었다.	は南甲山郡 康箕俊、金喜朋、金俊成南甲山郡 康箕俊、金喜朋、金俊宝南莞島郡 洪緒範、黄櫃八、黄縣 間 はない からり いっと しい かいらい いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっ	陽郡 李鉉敏、南廷卓、吳晦 關郡 李鉉敏、南廷卓、吳晦 聖해 문孝元、金丙玉、徐成 张孝元、金丙玉、徐成 张孝元、金丙玉、徐成 张孝元、金丙玉、徐成 张孝元、金丙玉、徐成	京の町小町の町の町町が大町 一丁目 黄金町二丁目 第金町二丁目 第金町一丁目 新金町二丁目 部 水下町 三角町南大門通一丁目一部 水下町 一角	の と	교리에 하는 바이는 바이라 감독 등 하나 이 등 보고 기 하나는 바이를 보고 기 한 하는 바이라 가 되는 바이라 하는 무지 기 있는 무지 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기
	(런천) (런천) (런천) (런천) (런천) (런천) (한 우 는 한 우 는 당한 가 나 다 한 당한 가 나 다 한 당한 상 은 일원 가 순 당한 강 을 일원 가 수 당한 강 을 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일 일	지나간이십류일모후다시경에 지나간이십류일모후다시경에 경찰서	의 사실 시 다 무 이 시 시 시 가 다 가 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시	다른 어 토 하서 지역학을 하서 그 목계용 본 이 그 목계용 본 이 그 목계용 본 이 는 것 교 각 치 와 의 를 가 있지 않지 싶지	対義사ユタで課事予舊	(光時面)구혜리(九邊비)리는 (北時面)구혜리(九邊비)리는 이 사자리오면인 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등 등
中 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	股本場所可以上製品永久買受納 「一一本 「一一一一一一一一一一	本華鮮 学 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	外科 花柳病科 一大	間 上	和 是	기본 첫 대한 의 등 학교 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의
原料極上	大力 / 大力 / 标米 表 文 大力 / 标米 可能) 写 特 完 表 表 表 表 表 表 表 表 表	機 叮의 用木瀬田 計変全易斗 可・一木	所送界推廣 の で を を を を を を を を を を を を を	城府黄金町	都合介	本人の京城蓬萊町廣濟社標 自結婚の野道の 日本人の京城蓬萊町廣濟社標 自結婚の野道、 日本人の京城蓬萊町廣濟社標 日二十六日の正の原理 京城府社標洞四番地 京城府社標洞四番地 京城府社標洞四番地 京城府社程洞四番地 京城府社程洞四番地 京城府社程洞四番地 京城府社程洞四番地 京城府社程洞四番地 京城府社程洞四番地
美麗 地番九州洞寺仁府城京 下 工職 靴洋城京 工職 靴洋城京 作	八大製	中	四 六 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	一丁目四九番地 一丁目四九番地 一下目四九番地 一下目四九番地 大試用하り。 大試用하り。 大試用하り。 大試用하り。 大試用하り。 大試用하り。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大試用がり。 大記用がり。 大記を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	依から事務所を左記	世界部の入社が名と 一個画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画



.